



慶野松原花火大会



3,400発の打ち上げ花火が、色鮮やかに夏の夜空を彩ります。

◆日時 **7月30日(土)※荒天時翌日順延**
午後6時～8時45分

◆場所 慶野松原海水浴場周辺

※駐車場に限りがありますので乗り合わせで会場にお越しください。大会翌朝午前6時からの清掃活動にご協力をお願いします

圏商工観光課 ☎37-3012



ぬしまフェア

沼島で獲れた鰯などを地元漁師が調理し、自信を持って振る舞います。これを機に沼島の美味しい魚をご堪能ください。※なくなり次第終了

◆日時 **7月17日(日)午前10時～午後3時**

◆場所 イングランドの丘農漁業体験施設

◆内容 鰯(焼き物・刺身・たたき)やその他の振舞い、直売など

圏水産振興課 ☎37-3013



山添 (やまぞえ)

「続三原郡史」
郡史の拾い読み 知っておきたい・・・
地名の由来 その25

その25



地形から：

「正保(1644) 1647)国絵図」に山添村とある。北西部に山を背にして東に向かつて集落と耕地が開かれている。明治十年に納村と合併し、明治十六年(1883)、分村した。明治二十二年(1889)に広田、中条、納村と合併して広

田村が成立し、その大字となり、昭和三十二年に緑村、昭和三十五年、緑町の大字となる。北西部の通称城の台の山頂に、中世末期の山添城跡がある。地名の由来は地形からであろう。この村で小字名のうち久次米は、最も地番の多い地名である。

倭文長田 (しとおりがた)

長谷の転訛：

広田の西、西流する倭文川の支流長田川の流域にある。貞応二年(1223)の「淡路国大田文」に、三原郡の国領のうち長田村が見える。地頭は駿河出身の関東御家人船越右衛門尉。村名は長田川の流域で長谷の転訛という(『味地草』)。小字名の数川、水谷、原田、上

条という地番が多い。条という地番が多い。

【続三原郡史読者の声】

「何年もかかって作られた『苦勞に感嘆の声が出来ます』「地名の由来も興味深く、楽しんでいきます。限定版!三原郡史の続編

圏編纂事務局

市長公室 ☎43・5002

URL: <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>

E-mail: kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp